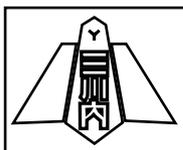


学校だより

あったか三川内



令和3年 10月28日
佐世保市立三川内小学校
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。



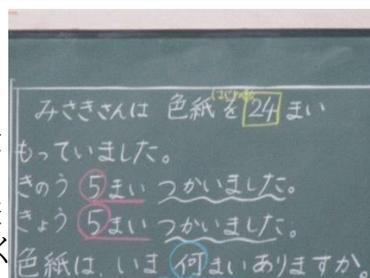
【校内研究授業・市教委訪問研究授業（算数科）から】

10月19日（火）2年1組、27日（水）2年2組で算数科の研究授業を行いました。どちらも同じ学習内容を扱い、2年1組が先行授業を行い、良いところや改善点を話し合い、2組の授業に生かしていくものです。特に27日には、市教委から学力向上担当者に来ていただき、授業の在り方や子どもたちの学びの様子などを視察していただきました。「子どもたちの学ぶ姿勢が良く日頃からの指導の成果が出ている。」と、褒めていただきました。

単元名「ふえたり へったり 図をつかって考えよう（2）」では、上記の問題文を読み取り、「順に考える」「まとめて考える」の2通りの解き方があることを知り、図を使って考え答えを求めるものです。式を立てる前に、 $24 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc$ の図をかかせ、「順に考える」では、 $24 - 5 = 19$ 、 $19 - 5 = 14$ 答え14まい。となります。「まとめて考える」では、つかった枚数を先に計算し、 $5 + 5 = 10$ 、 $24 - 10 = 14$ 答え14まい。となります。子どもたちは、順に考えて計算することはすでに習っていたのですぐにできました。ここでは「まとめて考える」つまり、 $(5 + 5)$ を先にして24からひく考え方に気付かせ、「つかった枚数をまとめてからひく」ことを学習しました。

数字から見ると、このようにまとめると、簡単に計算することができます。この考え方は、減るときも増える時につかうことができるので、(まとめ)「2回増える時も、減るときもまとめて考えることができる」ことを、学びました。

図にかくことは、2年生に限らず他の学年でも使います。図の他にも、表、数直線、線分図などがそれです。文章問題では文字だけのものを、図や数直線などに表し解決に向かう思考の助けとします。自分の力で解く方法を考え、正しい答えを導き出す力を子どもたちに付けさせていきたいと思えます。ご家庭でも、子どもたちが困っていたら、「図や数直線、線分図などに表してみたら。」とアドバイスをお願いします。



【脱穀の様子から】

10月19日（火）実りの秋にふさわしく、9月に稲刈りをし、掛け干ししていた稲を、5年生が脱穀しました。田んぼの真ん中に据えられた脱穀機に、次々に稲を運び込みました。そして、脱穀した稲を束ねたり、まとめたりする作業をしました。脱穀したお米は、30kgの袋に6袋ほど収穫できました。保護者の方にもたくさん手伝っていただきました。ありがとうございました。

田植えから始まり、稲の成長観察、稲刈り、脱穀と一連の米作り学習を終えた5年生。多くの方々への支えに感謝しながら学習のまとめをしてください。

